



S REPORT サステナブルレポート No.81

増殖する環境ラベル、 迷える使用者

環境サービス

リサイクル



■ 商品サービスの品質、性能、安全性を証明する「認証マーク」のひとつ

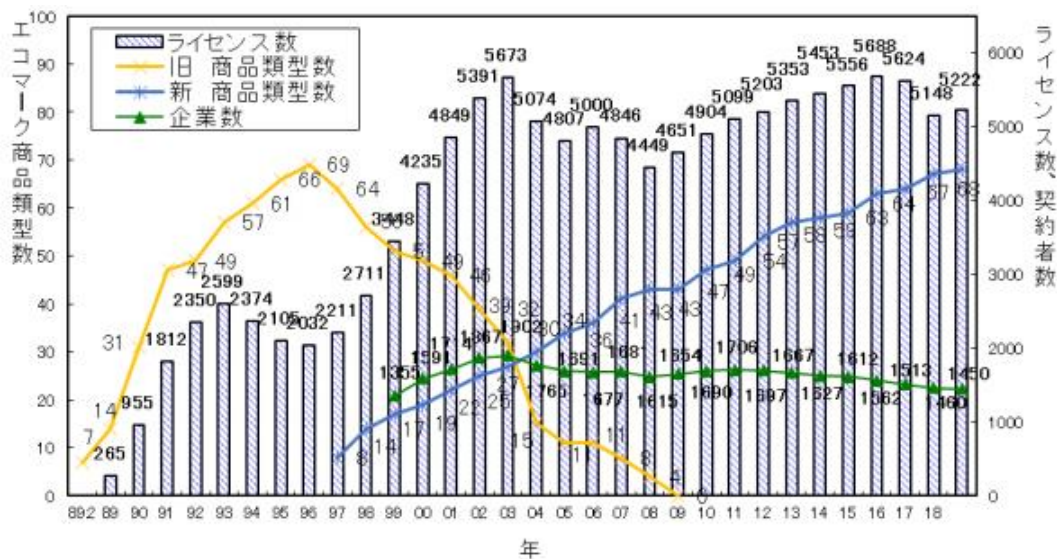
- 環境に特化した認証マークを「環境ラベル」といい、それらの**基準や対象は様々**。
- 代表的な「エコマーク」の**認定は増加傾向**にある。（商品41,797品、ライセンス企業1,325社。）

■ 世界の環境ラベル

日本 エコマーク	ドイツ ブルーエンジェル	EU フラワー	スウェーデン 自然保護協会認証
			
北欧 ノルディックスワン	カナダ エンバイロメンタルチョイス	アメリカ グリーンシール	タイ グリーンラベル
			
韓国 環境ラベル	台湾 グリーンマーク	インド エコマーク	ニュージーランド エンバイロメンタルチョイス
			

出典：NACS環境委員会「世界のタイプIラベルのいろいろ」

■ エコマークライセンス数と商品累計数の推移



出典：公益財団法人日本環境協会エコマーク事務局「2019年度エコマーク事業推進状況について（報告）」

売り場にあふれるラベルの中から、消費者は自身が共感するモノを選択する

■ 環境ラベルの本質的な認知課題

- 企業は環境ラベルによって**環境配慮を社会へアピール**し、消費者は購買を通じて**取組みを手軽に支援**できる。
- 消費者は環境ラベルを購入基準とするも、それらが示す**取組みへの認知は4割程度**に留まる。
- ラベルの視覚的な印象や限定的な文字情報だけでは、環境への有効性や**認定基準は消費者に届かない**。
- 手に取った商品の環境ラベルが、本当に自身の嗜好や考えに合っているか情報を得る必要がある。

■ 環境ラベルの3つのタイプ（国際標準化機構ISOで制定された規格）

タイプⅠ（ISO14024） 第三者認証

第三者機関がラベル使用許可を判断。
許可を得た使用者のみが表示できる。



例：エコマーク

タイプⅡ（ISO14021） 自己宣言

ラベル使用者が環境配慮を自己宣言。
評価基準は使用者が個々に設定する。



例：Rマーク

タイプⅢ（ISO14025） 環境情報表示

環境への影響をデータ公表、告知。
環境によいことを表すものではない。




















例：エコリーフラベル

消費者の正しい選択には、ラベル使用者の手助けが必要

■ 環境ラベル転機の示唆

- 環境配慮が必須となった今、環境ラベルはその有無だけではなく「質」が問われ始める。
- 使用者は商品情報や環境配慮と併せて環境負荷も発信し、誤解を招かない「エシカル消費」を促す。

■ 環境ラベルのグループ分け例（ISO基準を参考に分類）

種類\活動	直接の活動になる	エシカル消費の目印になる
第三者認証		 エコマーク  海のエコラベル  ブルーエンジェル  Environmental Choice Australia
自己宣言	 Nichido Eco Mark (日本道路株式会社)  CO2エコロジー (有限会社 アイ・ネット)  低炭素セメントラベル (住友大阪セメント株式会社)	 グリーンマーク (古紙再生促進センター)  エコガラス (板硝子協会)  ちゃんとエコ (株式会社タナックス)  燃費優良車 2030年度基準 (国土交通省)
環境情報開示		 エコリーフ 製品環境情報 https://www.ecoleaf-label.jp/
その他	 リターナブルびん  紙パック  モバイル・リサイクル・ネットワーク	 国際エネルギースター プログラム  レインフォレスト アライアンス

本質的なエシカル消費には、共通の物差しによるエシカル表示を要する

■ エシカル消費とは

消費者ひとりひとりが社会的課題の解決を考慮したり、それに取り組む事業者を応援するような消費活動。一見難しく感じるが、環境ラベルのついた製品を選んで買うこともエシカル消費にあたる。

■ 99%再生材使用ごみ袋『FUROSHIKI』（弊社商品）

国内で廃プラスチック（ポリエチレン）を回収し、再資源化。再生材ごみ袋を国内生産して排出者に還元する。捨てるためだけに新品資源が消費されていたごみ袋を変えるだけで誰でも環境活動に参加できる。企業は資源提供または商品を使用することでCO2排出削減に貢献、消費者側は特別な知識も経験もいらない。タイプⅡ（3頁）自己宣言に分類される商品だが、手軽に始められるエシカル消費である。

すでに無意識に買っている、あとは意識するだけ



情報提供から実行支援まで

SDGs・ESGの企業対応を
支援しています。

- ✓ 何から取組み始めればいかわからない
- ✓ 経営層や社員への浸透に悩んでいる
- ✓ SDGs・ESG投資に関する社内セミナーや社員研修を行いたい

無料!

お問い合わせ／お見積もり

お急ぎの方はお電話で

📞 03-5542-5300

受付時間 9:00~19:30

参照・引用資料

- ウィキペディア「認証マーク」,2021年2月13日 (URL:<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E8%AA%8D%E8%A8%BC%E3%83%9E%E3%83%BC%E3%82%AF>)
- NACS環境委員会,「環境ラベルの3つのタイプ」,2021年2月13日 (URL:http://nacs.or.jp/kankyo/label/label_3.html)
- NACS環境委員会,「世界のタイプ I ラベルのいろいろ」,2021年2月13日 (URL:http://nacs.or.jp/kankyo/label/label_4.html)
- エコマーク事務局,「商品の認定基準」,2021年2月13日 (URL: <https://www.ecomark.jp/nintei/>)
- エコマーク事務局,[調査報告・関連資料],2021年2月13日(URL: <https://www.ecomark.jp/office/report/>)
- エコマーク事務局,「第43回運営委員会資料2」,2021年3月11日 (URL:<https://www.ecomark.jp/pdf/43-2unei.pdf>)
- 環境省,「環境ラベルに関するアンケート調査結果の公表について」,2021年2月13日 (URL : <https://www.env.go.jp/press/8738.html>)
- 環境省,「ISO環境ラベルに関する規格」,2021年3月9日 (URL:https://www.env.go.jp/policy/hozen/green/ecolabel/c01_04.html)
- 環境省,「環境ラベル等データベース」,2021年3月10日 (URL:<https://www.env.go.jp/policy/hozen/green/ecolabel/f01.html>)

サステナブルレポートに関するお問い合わせ先 :

SREPORT 編集部 ☎ 03-5542-5300 ✉ info@sfinter.com

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失 利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的所有権は株式会社サティスファクトリーに帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

Satisfactory



<https://www.sfinter.com/report/>